

現代建築と瓦

建築セミナー

in MATSUYAMA

CPD認定プログラム

多くの建築士・住宅建築関係者さまに
瓦の安全性と優れた特性を知っていただくセミナーを実施します。

瓦屋根が生み出す日本の美しい風景は、日本建築美の象徴であるとともに、その高い耐久性から、日本の家屋を守り続けて来ました。

瓦が日本で使われ始めて1400年。過酷な自然環境にさらされる屋根材として、瓦以上に適性の高い材料は未だ現れていません。

近年ではデザインのバリエーションも増え、純和風建築はもちろんのこと、現代和風建築、洋風建築にも、瓦ならではの質感が住宅に重厚感・高級感を生み出しています。

しかしながら、長引く不況による住宅市況の低迷や消費増税後の反動、さらには金属屋根など他屋根材の攻勢もあり、瓦の需要が低下しております。

愛知県陶器瓦工業組合では、地震、台風などの災害に強い施工方法「ガイドライン工法」を推奨し、また“瓦は色あせない。再塗装不要”など耐久性の高さから、長い目で見れば経済性の高い屋根材であることを、設計士の皆様をはじめ、建築業界の皆様にもPRさせていただき、「三州瓦」の需要喚起を図りたいと考えまして、当セミナーを開催いたします。

万障お繰り合わせのうえ、是非ともご参加頂きたくご案内申し上げます。

平成27年11月24日(火)

会場／メルパルク松山(1F ポヌール)

時間／15:00～17:00(開場14:30)

参加費:無料(事前登録制) ※お申込み方法は裏面をご確認ください





Photo by Yutaka Kinumaki

◆講演

美しく育つ素材/ 時を重ね成熟する美しさ 素材の記憶

講師：竹原 義二氏(たけはら よじ)

1948年徳島県生まれ。建築家石井修氏に師事した後、1978年無有建築工房設立。2000～13年大阪市立大学大学院生活科学研究科教授。現在、摂南大学理工学部教授。30余年の設計活動の中で、住宅を中心に180を超える作品を手掛け、日本建築学会賞教育賞・村野藤吾賞など多数受賞。

すべては無に始まり有に還る。建築は何もない場所から立ち上がりカタチをもっていく。そこには場のもつ力があり、建築の力によって再現される。社会の要請、建て主の意志、経済状況、風土、伝統、流行など多数の要素が絡み合い現実の建築が生み出されていく。

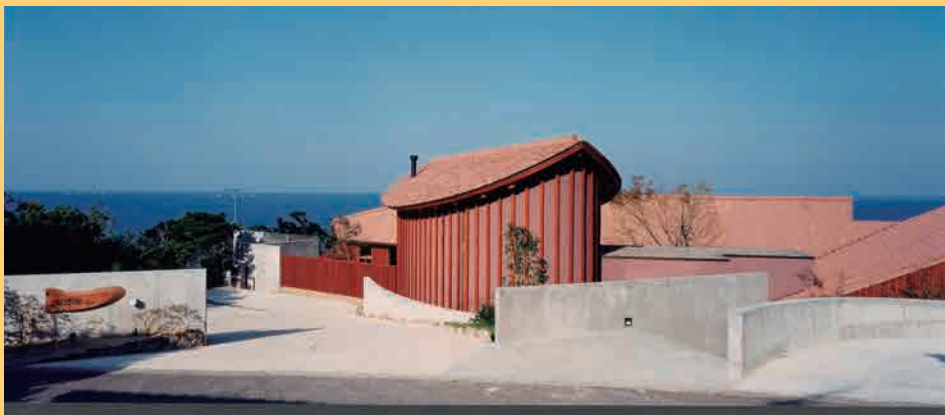


Photo by Yutaka Kinumaki

◆三州瓦プレゼンテーション

愛知県陶器瓦工業組合および全日本瓦工事業連盟の講師による、瓦と瓦屋根についての解説・紹介を実施いたします。瓦の歴史から、形状の違いや施工方法など、質疑応答も交えてお応えいたします。

会場のご案内

会場／メルパルク松山 (1F ボヌール)

〒790-0858 愛媛県松山市道後姫塚123-2
TEL:089-945-6411
◎「道後温泉駅」下車徒歩5分



ご来場の際は、なるべく公共交通機関をご利用ください。

お申込み／お問合せ

愛知県陶器瓦工業組合

〒444-1323 愛知県高浜市田戸町1-1-1 TEL:0566-52-1200
URL:www.kawara.gr.jp MAIL:info@kawara.gr.jp

FAXでのお申込み

FAX : 0566-52-1203

下記のお申込み書にご記入の上、本チラシ裏面をFAXにてご送付ください

【現代建築と瓦／建築セミナー お申込み書】松山会場

お名前(フリガナ)	_____
ご勤務先	_____ (所属)
ご住所	_____
電話番号	_____ FAX
メールアドレス	_____

※ご記入いただきました事項は、本セミナーの運営、開催目的以外で使用することはありません。